

JST 理事長 記者説明会

平成26年6月18日

独立行政法人 科学技術振興機構

本資料に掲載されている記事・写真・図表などの無断転載を禁じます。

大学発ベンチャー表彰 ～Award for Academic Startups～

目的

大学等における研究開発成果を用いた起業および起業後の挑戦的な取り組み、さらには企業からベンチャーへの支援等をより一層促進することを目的とする。

表彰対象

- 大学等の成果を活用して起業した大学発ベンチャーのうち、今後の活躍が期待される優れた大学発ベンチャー
- その成長に特に寄与した大学や企業等

応募要件

- 大学等の研究開発成果を活用して起業したベンチャー
- 設立後、概ね10年以内
- 応募時点で上場していない

応募期間

6月6日（金）～7月16日（水）

ホームページ：<http://www.jst.go.jp/aas/>
E-Mail：aas@jst.go.jp

後援（予定）
文部科学省、日本ベンチャー学会、全国地方新聞社連合
JAPAN SCIENCE AND TECHNOLOGY AGENCY

受賞者発表

平成26年9月上旬を予定

表彰式

「イノベーション・ジャパン2014」会場
日時：9月11日（木）
場所：東京ビックサイト



表彰

文部科学大臣賞（1社）
科学技術振興機構理事長賞（1社）
日本ベンチャー学会会長賞（1社）
大学発ベンチャー表彰特別賞（複数社）

日本・アジア青少年サイエンス交流事業(新規事業) (さくらサイエンスプラン)

概要

- ・アジアの青少年を短期間日本に招へいすることで、最先端科学に触れ、優秀な人材の育成に貢献
- ・対象国は東アジア(中国、韓国、モンゴル、台湾)とアセアン10カ国の合わせて14の国と地域
- ・高校生からポスドクまで、40歳以下の幅広い層を対象
- ・初年度は2,000人を予定

応募状況と採択結果

平成26年4月25日～5月23日まで第1次募集を実施

応募総数: **316件** 採択件数: **155件**

応募機関総数: **131機関** 採択機関数: **97機関** (大学・高専・高校(77), 法人(13), 企業(7))

採択人数 **1,639人**

国・地域別採択人数

中国(782), インドネシア(118), カンボジア(3), シンガポール(19), タイ(157), 韓国(87), 台湾(73), フィリピン(34), ブルネイ(3), ベトナム(165), マレーシア(120), ミャンマー(40), モンゴル(17), ラオス(21)

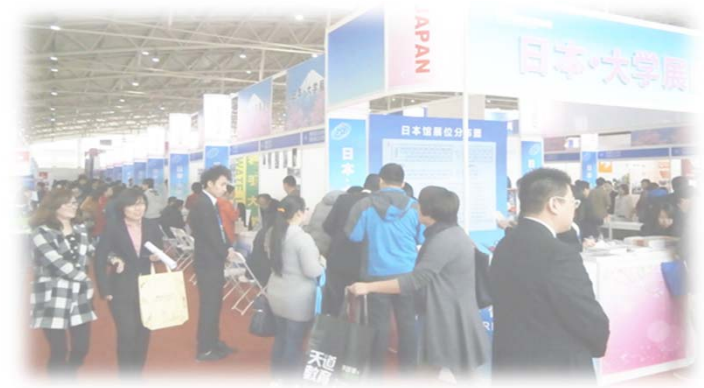
今後のスケジュール

早ければ7月から実施予定

6月23日から7月18日まで第2次募集(予定)

趣旨

イノベーション創出に向けた産学連携の促進は両国の喫緊の課題。科学技術協力は両国の繁栄と成熟をもたらす原動力であり、日中が共通の課題を話し合い、新しい関係を構築する。



概要

フォーラム(2014.3.19 北京)

「産学連携が拓くグローバル・イノベーションの扉」

4セッションで専門家が討論

フェア(2014.3.15~16 北京、22~23 上海)

日中交流会(2014.3.19北京)

清華大学、浙江大学SP視察

フォーラム参加者:500人以上

参加大学:あわせて66大学



成果事例

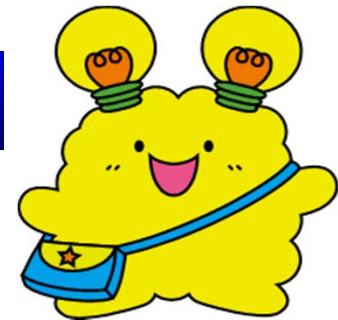
- ・日本の大学と中国企業・大学のマッチング 4件成立
- ・日本の大学ブースに5,400名の中国人学生が訪問、留学促進に多大な貢献
- ・日中大学フェア & フォーラムで交流した日本の66大学のうち、3分の2にあたる44大学が「さくらサイエンスプラン」に応募。招へいを希望する中国の大学・大学院生数は1,200人を超えた。

「第2回科学の甲子園ジュニア全国大会」～概要

- **日程：** 平成26年12月5日（金）～7日（日）

- 5日： 開会式、オリエンテーション
- 6日： 筆記競技、実技競技
- 7日： エキシビション、表彰式

- **会場：** BumB東京スポーツ文化館（東京都江東区夢の島2-1-3）



科学の甲子園キャラクター
アッピン

目的：科学好きの裾野の拡大、および未知の分野に挑戦する探究心や創造性に優れた人材の育成

第1回：都道府県大会には15,000人を越える中学生が参加。47代表チームのトップとなったのは滋賀県チーム



第1回全国大会 実技競技の様子

SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)

概要

内閣府「総合科学技術・イノベーション会議(CSTI)」が自らの司令塔機能を発揮し、府省や旧来分野の枠を超えたマネジメントに主導的な役割を果たすことで創設した、科学技術イノベーションを実現するための新しいプログラム。CSTIが重点課題として10課題を選定。うち5課題がJST単独、もしくは他機関と合同で運営される。

JSTで公募中の課題

課題名	プログラム・ディレクター (内閣府)	概要	管理法人 /省庁直執行	公募日程
革新的燃焼技術	杉山 雅則 (トヨタ自動車(株) エンジン技術領域 領域長)	最大熱効率50%以上の革新的燃焼技術を実現し、省エネ、CO ₂ 削減に寄与するとともに、世界トップレベルの内燃機関研究者の育成と持続的な産学連携体制の構築に取り組む。	JST	6月13日～7月31日
革新的構造材料	岸 輝雄 (東京大学名誉教授、 物質・材料研究機構顧問)	強く、軽く、熱に耐える革新的材料を開発し、航空機を始めとした輸送機器・発電等産業機器への実機適用を行う。	JST	6月16日～7月29日
エネルギーキャリア	村木 茂 (東京ガス(株)取締役副会長)	水素を効率よく低価格で生産する技術の研究、水素を効率よく輸送・貯蔵する液体水素やエネルギーキャリア技術の研究を行い、水素社会の実現に向けた取組を推進する。	JST	6月10日～7月8日
インフラ維持管理 ・更新・マネジメント 技術	藤野 陽三 (横浜国立大学安心・安全の科 学研究教育センター 特任教授)	システム化されたインフラマネジメントの活用資する研究開発を通じて、国内重要インフラの高い維持管理水準での維持、魅力ある継続的な維持管理市場の創造を実現する。	JST/NEDO /国交省	6月16日～7月22日
レジリエントな防災 ・減災機能の強化	中島 正愛 (京都大学防災研究所 教授)	府省連携により災害情報をリアルタイムで共有・利活用する仕組を構築するとともに、地域における防災リテラシーを向上させることで、国民一人ひとりの防災力の向上をめざす。	JST/総務省 /国交省	6月16日～7月15日

関連ホームページ:

- SIP内閣府HP
<http://www8.cao.go.jp/cstp/gaiyo/sip/index.html>
- SIP JST担当課題HP
<http://www.jst.go.jp/sip/index.html>

JST担当課題 問い合わせ先:

- 「革新的燃焼技術」、「エネルギーキャリア」: 環境エネルギー研究開発推進部 (TEL:03-3512-3543)
- 「革新的構造材料」、「インフラ維持管理・更新・マネジメント技術」: 産学基礎基盤推進部 (TEL:03-5214-8475)
- 「レジリエントな防災・減災機能の強化」: 社会技術研究開発センター (TEL:03-5214-0134)